

鳥丸通二條上ル町 諸口河内大掾 同通下立賣上ル町 大文字や喜兵衛軒外三

張貫文庫師 建仁寺町五條上ル 龜屋善兵衛

〔諸問屋再興調十四〕商買品御書上 通町組 内店組 小問物問屋

品書

一文庫類 革、絹、張、藤、張貫、鳥丸無地、同宿繪略○中

右之通私共仲間古來より取扱ひ候品ニ御座候、以上、

嘉永五年子三月

茂兵衛人外一

〔守貞漫稿六生業〕江戸ニ在テ京坂ニ無キ陌上ノ賈人略○中 文庫賣

籠製宮ヲ紙張ニシ、黒漆ヲヌリタルヲ云、女子小裁等ヲ納ムノ器トス、此文庫及ビ黒漆帖ヲ紙枕

針筥鏡立竹尺等ノ類ヲ擔ヒ賣ル、

○按ズルニ、文匣ノ事ハ、文學部文匣篇ニ詳ナレバ、參照スベシ、

箱雜載

〔播磨風土記飾磨郡〕枚野里略○中 所以稱宮丘者、大汝少日子根命與日女道丘神期會之時、日女道神

猶丘、備食物及宮器等具、故號宮丘、

〔播磨風土記揖保郡〕上宮岡、下宮岡、黒戸津、杓田、宇治天皇之世、宇治連等遠祖兄太加奈志弟太加奈

志、二人請大田村與富等地墾田、將蒔來時、廝人以杓荷食具等物、於是杓折荷落、所以奈閉落處、即號

黒戸津前宮落處、即名上宮岡、後宮落處、即曰下宮岡、荷杓落處曰杓田、

〔後撰和歌集十六〕元長のみこのすみ侍りける時、てまさぐりに何いれて侍りける箱にか有りけ

む、また帯してゆひて、又こむ時、にあけむとて、物のかみにさし置きていで侍りにける後常

明のみこにとりかくされて、月日久しく侍りて、ありし家にかへりて、此箱を元長のみこに

送るとて、

中務